

現状（学校地域支援本部事業をはじめとする県内の活動例）

- ◆**学校支援**
 - ・各種授業のゲストティーチャー
 - ・放課後の学習支援
 - ・防災訓練(防災学習)
 - ・料理教室(食育)
 - ・学校の環境整備
 - ・読み聞かせ
 - ・部活動外部講師
 - ・夏休みのラジオ体操
 - ・交通安全指導
- ◆**地域での体験活動**
 - ・地域の祭り、伝統芸能
 - ・各種の職業体験(稲作他)
- ◆**ボランティア活動**
 - ・地域清掃
 - ・防火呼びかけ
- ◆**スポーツ活動**
 - ・地域のスポーツクラブ
 - ・スポーツ少年団
 - ・部活動外部講師(再掲)
- ◆**見守り活動**
 - ・交通安全指導(再掲)
 - ・地域での見守り(スクールガード、スクールサポーター、警察、民生委員・児童委員、コンビニ等の企業や各種店舗、子ども110番の家等)
- ◆**青少年の健全育成に関わる団体の活動**
 - ・子ども会活動(ジュニアリーダー等)
 - ・ボーイスカウト、ガールスカウト
 - ・青少年赤十字

いじめ問題に特化した取組ではないが、これらの取組を行っている学校では、いじめの未然防止につながっているという感想も見られる。
(平成27年度学校支援地域本部事業アンケートより)

(課題1) いじめの未然防止

(課題2) いじめの認知

必要な条件

- 子ども
- ◆自己肯定感
 - ◆自己有用感
 - ◆共感的理解

- ◆コミュニケーション力
- ◆規範意識
- ◆道徳性
- ◆人権意識
- ◆個性の尊重

- 大人
- ◆地域のつながり
 - ◆子ども理解
 - ◆地域・家庭の教育力
 - ◆肯定的な承認

方向性

地域の活動の中に、いじめの未然防止を意識した場を設ける

地域の大人と子どもと一緒に活動する機会をもつ

- 体験
- 交流
- 学習

地域ぐるみで子どもや家庭を支える体制をつくる

地域や家庭の子育て力向上に向けた支援を行う

地域ぐるみでいじめ防止を図る